

石川の豊かな教育の創造の発信基地に

「いしかわ教育総合研究所」（いしかわ教育総研）は、2002年6月24日に設立した。石川県教組のシンクタンクとして、県教組の運動と連動させながら、「石川のゆたかな教育の創造」をめざし、その発信基地としての活動を進めている。

初代所長に、諸岡康哉（元金沢大学教授）、06年度から、田村光彰（元北陸大学教授）を迎え、各部会長に、大学準教授など学識者、研究員に、小・中・高現場教職員、退職教職員、労組員、NPOや団体職員、市民や各級議員などで構成し、運営員会で決めた活動方針にもとづいて活動を進めてきている。

研究部会は、教育政策、教育財政の2部会で出発し、のち、地域の教育力、平和教育、環境教育部会などで進めてきた。研究の成果、発信状況などについては、その年度末に発行する年報（I～X(10)）に収録してきている。

12年目の2013年度は、教育政策（教育財政、地域の教育力分野を含む）、平和教育、環境教育の3部会体制で、調査・研究活動を推進してきている。また、研究の成果、発信は、ホームページに掲載していく予定である。今後とも、いしかわ教育総研へのご支援をお願いし、「子どもの未来」を拓いていく研究所としての発展を期したい。